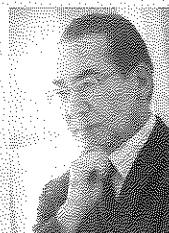


～ 昨日の風 明日の風 ～ 経営コンサルタント 独白録

【第146回】「独自OS」のススメ！



戸敷 進一

1956年生まれ、宮崎県出身の経営コンサルタントで、銚経営改善支援センター（福岡市、URL: <https://sien.co.jp/>）代表取締役。業種を問わない「組織活性化」の専門家で、全国300社以上の企業の活性化を指導。全国の商工会議所や企業などからの依頼で講演活動もおこなう。明確で分かりやすい表現で驚くほど短期間で「組織」を変えるのが強み。また、帝国データバンクの契約コンサルタントとして九州各地の企業を中心に多くの実績を上げている。

昨年2024年に世界約80カ国で大統領や首相選挙・議会選挙が行われ、新しい枠組みが成立した上で、2025年は激動の年になると言われていました。2年前には、遠い世界の話のように聞こえていたのですが、実際に2025年が終わる時期に、その言葉を思い返すとまさに激動の年となりました。

昨年暮れに戒厳令を出した韓国大統領は、現在牢獄の中です。大方の予想を裏切って当選したトランプ大統領の就任は今年の1月でした。日本でも新しい首相がこれもまたメディアの予想を裏切って誕生しました。政治の世界の動きはダイレクトに社会に影響を与えます。目先の出来事だけではなく、背後に横たわる時代の潮流やこれからの見通しに最大限の注意を払う必要があります。

価値観の多様化と行動変化

2024年の企業倒産件数は9,091件でした。それに対して休業・解散・自主廃業した企業数は69,019件で約7倍です。後継者不足や売り上げ不振といった理由は様々ですが、企業が存続していくことが難しい時代になっています。何よりも働く人たちの価値観や行動が変化しています。ライフワークバランスと言う言葉や働き方改革によって、旧来型の意識や仕組みでは、新しい時代に対応できなくなっているのです。

世の中にもものが溢れ、様々なサービスが溢れている時代に、自分たちの独自性をどのように打ち出していくかは、これからの企業経営においてとても重要なことです。

古いOSに新しいソフトは乗らない！

コンピュータの世界では、絶えずOS（オペレーションシステム）のアップデートが図られます。そのアップデートに対応していなければ、最新のソフトはそのパソコン上では扱うことができません。アップデートはかなり手間がかかる仕事であり面倒な作業です。何よりも今までの作業環境の方が扱いやすいので、ギリギリまでアップデートを引き伸ばしてしまいがちです。しかしそのことによるデメリットは、次から次に新しいソフトに対応できないと言う事にあります。何やら経営もこのアップデートに似ていて、様々な改革が後回しになり、後々ほぞを噛むと言うことも少なくあ

りません。

5S活動で組織のOSをアップデート

中小企業の経営改善において最も重要な事は「大手企業の真似をしない」ということです。トヨタ式改善などの大手が行っている経営改善手法は中小企業には合いません。何よりも事業規模が違い、人員の余裕度が異なります。大手企業のOBが中小企業に来て、以前勤めていた手法を落とし込もうとして大失敗している姿をたくさん見てきました。

中小企業の経営改善において、重要な事は「業種・業態・事業規模・地域性」という四つの観点から安易に他社の真似をせず自社独自の仕組みを構築することです。そのためには、時代変化に対応できる組織を作ると言う明確な目的のもとに5S活動を行うことをお勧めします。

組織課題を顕在化させる試み

5S活動とは単なる片付けの事ではなく、【整理・整頓・清掃・清潔・しつけ】と言う要素を手順に従って組織展開を行うことです。最大のメリットは活動を行うと、それまで目に見えていなかった組織課題が顕在化するという事です。

価値観の共有化は出来ているか？組織の目的を理解しているか？仲間同志助け合う体制はあるか？品質や安全に関する意識レベルは合っているか？組織の中できちんとちゃんと言う共通言語が理解されているかどうか？何よりも組織存続のために必要な利益改善に対する意識はあるか？

実は、こうした組織に関わる部分の改善のために5S活動は組織風土に大きな変化をもたらし、ある意味組織のOSを書き換える活動になります。自社オリジナルのOSが確立してこそ新しい試みが形になっていくのです。これまで取り組んできた企業も、これから新たに取り組む企業も時代変化の激しさと質の変化を充分に理解して、1日も早く組織活性化活動に取り組んでいただきたいと思います。5S活動は、単なる片付けのことではなく、中小企業が生き残るために必要な必須アイテムです。

5S活動・組織活性化に興味のある方はぜひ弊社HPを御覧ください。